



まなびネットいわて

NO.95

効率的・効果的な事業評価のあり方を考える ～当センターの研究から～

近年、社会教育の分野でも、事業の充実や発展を図るため、また、外部への説明責任を果たすためにも、事業評価が求められております。しかしながら、これまで社会教育事業では、対象や内容が多様で期間も幅広く、参加者数や事業後のアンケート調査による満足度を示す程度にとどまっていることがほとんどでした。

事業の成果や効果を測る要素の1つとして、参加者の「意識や行動、状況等の変容」が挙げられます。しかしながら、この要素を把握するには2時点以上の調査が必要となり、担当者の負担が増えることにもなります。

こうした状況を踏まえ、当センターでは、この「事業評価のあり方」をテーマとした調査・研究に2年間に渡って取り組み、2月1日の県生涯学習推進研究発表会でその成果を報告しました。今回はその主な内容を紹介します。



○研究テーマ

「効率的・効果的な事業評価のあり方に関する実践的研究」

○研究の内容

- (1) 効率的・効果的な事業評価の方策
- (2) 当センター事業における評価の実際
- (3) 市町村の子供対象事業における評価の実際
- (4) 事業評価に関する考察

効率的・効果的な事業評価とは

「効率的・効果的な事業評価」を次のように捉えました。

【効率的・効果的な事業評価の捉え方】

事業の結果（アウトプット）と成果や効果（アウトカム）を必要にかかる負担を軽減し、できる限りの確に、客観的な数値で示す評価

「効果的な評価」

- ・事業目標から評価指標と目標値を作成・設定する。
- ・事業当日及びその前後の複数時点で調査を実施する。
- ・調査結果を数値で示し、目標値と比較した評価を行う。

「効率的な評価」

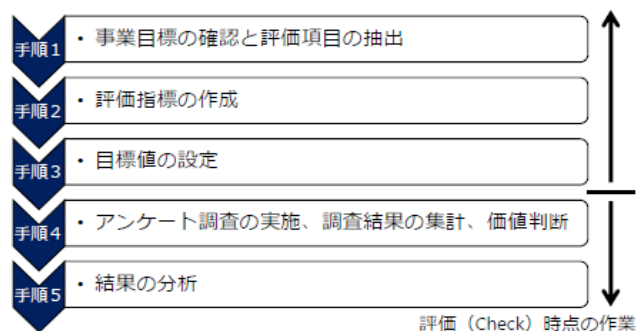
- ・調査項目数を制限する。
- ・アンケート支援システム（SQS）の活用により集計作業を簡単にする。
- ・他事業にも流用可能な汎用性をもった調査とする。

* SQSの説明は次頁をご参照ください。

次に事業評価の手順を次の5つとし、事業目標から評価項目を定め、目標値を設定し、事業評価を実施しました。

【事業評価の手順】

計画（Plan）時点の作業



事業評価の実際

当センターで設定した事業の評価指標及び目標値は次の通りです。

【評価指標と目標値】

評価指標	目標値
1 参加者数	定員充足率 100%以上
2 事業目的の達成度	肯定的回答(A・B)80%以上
3 参加者の満足度	有意義A評価 80%以上
4 事業内容の活用度	肯定的回答(A・B)80%以上
5 参加者意識の変容	事業前後で肯定的回答が増加

* 2・3は4段階評価、3は県アクションプランの指標

* 2は、Aが「できた」B「どちらかといえばできた」

* 4は、Aが「活用した」、Bが「今後活用したい」

3時点の調査時期と指標との関連は次のとおりです。

【評価指標と目標値】		
調査	時期	評価指標との関連
事前	申込時 (1か月前)	指標 5: 事前の参加者の意識
当日	事業終了後	指標 2: 目的の達成度 指標 3: 事業の満足度
事後	2～3 カ月後	指標 4: 活用度 指標 5: 事後の参加者の意識



【実践事例から】当センター事業				
事業名		子育て支援活動交流研修会（9/4 定員 50）		
目 的		・子育てを取り巻く貧困の実態について知る。 ・地域で支える効果的な子育て支援のあり方を学ぶ。 ・子育て支援者が相互に連絡を取り合う関係づくりの大切さを理解する。		
内 容		[講義] 「子育ての貧困から見えてくるもの」 ～「貧困」が子どもや地域に与える影響～ [事例発表] 「地域で支えるみんなの居場所」 ～子ども食堂『わらしやん井』の活動を通して～ [ワークショップ] 「広げよう子育て支援の輪」 ～つながることで見えてくる、わたしにできること～		
調査内容				
事前・事後 調査 (指標 5)		・子育てを取り巻く貧困の実態について知っていますか。 ・あなたの地域の子育て支援について、課題と感じていることがありますか。 ・子育て支援者が相互に連絡を取り合える関係ができていますか。		
事後調査 (指標 4)		・あなたはこの研修会で学んだことを自分の仕事に活かしましたか。		
評価結果				
評価指標		目標値	実績値	備考
1	参加者数	100%	208.0%	定員 50 名に 104 名参加
2	達成度	80%	95.1%	A は 36.6%、B は 58.5%
3	満足度	80%	85.4%	B は 14.6%
4	活用度	80%	100.0%	A が 30.8%、B が 69.2%
5	意識変容	事後に増加	+11.5 ポイント	事前 A・B 回答 60.2% 事後 " 71.7%

本事業では5つの目標値をすべてクリアできましたが、今年度対象とした当センター16事業のうち、全て達成できたものは、3事業にとどまりました。また、指標別に見ると、評価指標2の「目的の達成度」と評価指標4の「事業の活用度」は16事業すべてで達成できました。

また、遠野市教育委員会と共同実践させていた

だいた遠野市「放課後子ども教室推進事業」では、当センターで実施した事業評価の考え方をもとに、4つ（①事業実施率、②目的の達成度、③児童の満足度、④児童の変容）の指標と目標値を設定し実施した結果、すべての目標値がクリアされ、客観的な成果と課題を示すことができました。

本研究の成果と課題

【効果的な事業評価の方策について】	成果
①事業の事前または開始時点における参加者の実態を把握し、事業運営に活用可能なデータを得ることができた。	
②事業当日または終了時点における参加者の事業目的の達成状況を把握する評価を可能にできた。	
③事業2～3カ月後の活用状況を把握し、事業内容の活用度について評価することができた。	
④事業の事前・事後または開始・終了の各時点における調査結果を比較し、参加者の変容が把握できた。	
⑤事業結果（アウトプット）と成果や効果（アウトカム）を数値化し、より適切で客観的な事業評価を実施できた。	
【効率的な事業評価の方策について】	成果
①調査項目数を制限したことにより、調査対象者や事業担当者等の負担を軽減できた。	
②調査用紙の作成や得られたデータの集計作業等を簡単にするSQSの活用により、事業評価を効率的に実施できた。	
③調査方法に汎用性をもたせ、市町村等他の事業にも活用可能としたこと。	
【今後検討すべき点】	課題
①各時点の調査やそれに基づく事業評価の結果を当日の事業運営や次年度事業の計画に活かすこと。	
②より適切な質問項目の内容や数について、さらに検討を加え、精査したうえで設定すること。	
③事業の形態や内容、対象等により、調査の回数や実施時期を検討すること。	

SQSのよさ

SQS (SharedQuestionnaire System) は、誰でも容易に入手でき、自由に使うことのできるアンケート実施支援システムです。これを利用すると、(回収後の) アンケート用紙をスキャンして得た画像データを特別なソフトに入れることで、自動的かつ速やかに集計してくれます。また、自由記述内容もその部分の画像を切り取ってまとめ、順番に並べられて出てきます。

このSQSを使ってアンケートを実施すると・・・

- ①結果が自動集計されます。
- ②自由記述部分も集約されます。
- ③クロス集計可能な Excel データも書き出されます。
* スキャンは、コピー作業と同じ感覚（作業量）ですし、アンケート用紙の画像データを読み取りソフトで処理するのに要する時間もごくわずかです。ぜひご活用ください。

詳細につきましては、3月発行の「いわての生涯学習」(2017 研究報告 Vol.20) やHP「まなびネットいわて」をご覧くださいと思います。

(所長 佐藤 寛)

岩手県立生涯学習推進センター 平成30年度 研修講座のお知らせ



県立生涯学習推進センターでは、平成30年度も市町村の生涯学習・社会教育関係者、有志ボランティア、学校教育関係の皆様のお役に立つ研修会を実施していきます。是非とも下記を参考に来年度の皆様のスキルアップにお役立て下さい。 ※詳細は、ホームページを御覧下さい

職

…主に市町村・施設・関係職員を対象としています。

指

…主にボランティア活動者・有志指導者を対象としています。

新

…H30年度新規事業です。

職

新任生涯学習関係職員研修講座 4/26 (木)・27 (金)

生涯学習・社会教育の
推進に関する基本的事項及び
職務に関する研修



職

社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座 5/11 (金)

社会教育指導員・地域づくり関係
職員等として必要な専門的知識・
技能に関する研修



職

家庭教育・子育て支援担当者研修会 5/15 (火)

家庭教育支援・子育て支援にあたる
地域人材の活用や連携の充実等を
図る市町村担当者のための研修



指

学校支援地域コーディネーター等研修会 6/8 (金)

学校の地域連携の推進と学校支援地域
本部事業を推進するコーディネーター
等の資質向上に関する研修



指

読書ボランティア研修会 第1回 6/20 (水) 第2回 9/12 (水)

読書ボランティアの資質向上と
読書活動の推進を図る
ネットワークの形成に関する研修



指

放課後子ども総合プラン指導者合同研修会 第1回 7/3 (火) 第2回 9/28 (金)

「放課後子ども教室」と「放課後
児童クラブ」の指導者等の情報共有や
連携の促進、資質の向上に関する研修



職

事業プログラム企画運営研修講座 7/20 (金)

公民館や地区センター等で
実施する事業プログラムの
企画運営に関する研修



職

センター長・公民館長・主管課長等セミナー 9/3 (月)

生涯学習・社会教育及び
地域づくりを担う施設長・
担当部局長の施策推進に関する研修



職

学校と地域の連携・協働のための研修会 8/7 (火)

学校・地域関係者を対象に、
学校支援地域本部事業の事業
理解を通して学校と地域の連携の充実を図る研修



職

コミュニケーションスキルアップ研修講座 8/9 (木)

生涯学習関係職員等に
不可欠な実践的対人スキルの
向上を図る研修



職

センター・公民館職員等研修講座 県南会場 8/24 (金) 中部会場 10/26 (金) 盛岡会場 11/13 (火)

地域づくりを担う
地区センター・公民館職員の
スキルアップを図る研修



指

子育て支援活動交流研修会 9/4 (火)

家庭教育・子育て支援関係者の
資質向上とネットワーク形成に
関する研修



新

子どものまなびを支えるセミナー 「青少年教育担当者研修会」

指

センター会場 10/18 (木) 宮古会場 6/1 (金)
県北会場 10/5 (金) 沿岸南部会場 11/21 (水)

市町村等の青少年教育担当者の
資質向上とネットワーク形成を
図る研修



指

復興支援セミナー 県北会場 6/14 (木) 沿岸南部会場 11/2 (金) 宮古会場 11/16 (金)

沿岸被災地において、学校と地域の連携を図る事業
(放課後子ども教室・学校と地域の協働推進事業)
の推進を支援する研修



指

子育て・親育ちサポートサロン

中部会場 5/23 (水) 沿岸南部会場 6/29 (金)
県南会場 5/30 (水) 宮古会場 7/6 (金)
盛岡会場 6/22 (金) 県北会場 7/31 (火)

子育て中の保護者等に対して、
家庭教育・子育てに係る学習
機会を提供するとともに、
地域の子育て支援関係者との
つながりをつくる研修



職

事業担当者のための評価研修会
9/21 (金)

社会教育における事業評価の
考え方と実践的な活用方法に
関する研修



職

子育て・家庭教育相談担当者研修会
第1回 10/12 (金) 第2回 2/20 (水)

子育て支援・家庭教育支援にあたる
電話相談等職員及び保護者支援に
あたる子育て支援人材のスキルアップを図る研修



職

広報スキルアップ研修講座
10/15 (月)

魅力的かつ効果的な
周知・広報活動に関する研修



職

岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会
6/21 (木)・22 (金)

A V L運営上必要なメディアに関する
専門的知識・技術に関する研修



随時研修 **通年** ※随時御相談に応じますのでお問い合わせ下さい。

生涯学習・社会教育に関係する団体が、当センターの職員、施設・設備を活用して随時実施する研修

出前研修（講師派遣） **通年** ※随時御相談に応じますのでお問い合わせ下さい。

生涯学習・社会教育に関する事項及び教育振興運動の推進に関する事項等について、市町村や関係機関等の
要請により職員を派遣して実施する研修

放課後児童支援員認定資格研修 ※放課後児童健全育成事業に従事する方の資格取得のための研修

盛岡会場 6/12-13、9/18-19 県南会場 7/24-25、10/23-24 沿岸会場 8/21-22、11/6-7 県北会場 8/28-29、10/2-3

放課後児童支援員として必要な基本的生活習慣の習得の支援、自立に向けた支援、家庭と連携した生活支援
等に必要な知識・技能を習得するための研修

キャリア教育支援事業 高等学校卒業程度認定試験 8/2 (木)～3日(金)・11/10 (土)～11 (日)

文部科学省の依頼を受け、様々な理由で高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適切に評価し、高等
学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験 ※申込は文部科学省まで

岩手県生涯学習推進研究発表会「岩手の人づくり・地域づくりフォーラム 2018」

(H31) 1/31 (木)～2/1 (金)

本県生涯学習・社会教育の推進に
係る提案として、調査研究事業の
成果等を発表



岩手県立生涯学習推進センターは、平成 29 年度（2 月末現在）主催事業 3,538 名 随時・出前
研修 1,701 名 施設利用 4,954 名 合計 10,193 名の方々にご利用いただきました。来年度も
さらに研修内容を充実させ、皆様の御参加をお待ちしています。

「岩手県立生涯学習推進センター情報」第 95 号 / 編集・発行 岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯口 2-82-13 電話 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564